

教育センターだより

9月



平成23年 9月 15日

砺波市教育センター 271号

〒932-0393 砺波市庄川町青島 401 Tel 82-5970

E-mail tonami-ec@tym.ed.jp FAX 82-5971

砺波市小・中学校 科学作品展

庄川生涯学習センターで開催

「砺波市小・中学校科学作品展」が、9月10日、11日の2日間にわたって庄川学習センターで開催されました。2日間で751名の来場者があり、盛況のうちに終わることができました。今年では会場の変更があり、準備に不安もありましたが、関係各位のご協力をいただき、落ち着いた雰囲気の中で、作品を鑑賞できる会場に仕上がりました。出品数は、小中合わせて126点あり、ほぼ昨年並みの出品数でした。



今年、3月11日に発生し、未曾有の被害をもたらした東日本大震災の影響で、エネルギー問題が国民全体の関心事になりました。

「ミニミニ水車発電で街を明るくしよう」「手作り電池をつくろう」「太陽熱でクッキング」「液状化現象の研究」など、節電の意識や地震対策など、世の中の関心事を自分なりに受け止め、研究に結

びつけた作品が多いことが特徴的でした。また、複数年にわたる継続研究が10点あり、内容の深まりが感じられました。どの作品も「動機」が明確で、課題意



識をもって意欲的に取り組み、その成果がわかりやすくまとめ上げられていました。

科学作品展では、ご家族と一緒に来場され、時間をかけて作品を細かなところまで見ておられる光景に何度も出会いました。中には、次年度の作品づくりに向けてメモをとっておられる姿もあり、関心の高さがうかがえました。

当日、会場に設けた「感想コーナー」に寄せられた何点かを紹介します。

- ・みんな、とてもうまく濃い内容の作品で、時間をかけているなと思いました。きっと、一つの作品を作るのに、何回も実験をくり返したんだと思いました。
- ・いろいろな人のまとめ方が参考になった。研究テーマもたくさんあって、みんな目のつけどころがすごいと思った。
- ・意味がわからなかったけど、中学生はすごい研究をしていた。

今度は賞に入るようがんばりたいです。

★金賞受賞者★

鷹栖小	3年	村中林太郎	チャレンジ eco バケツ稲づくり
出町小	4年	米田 祥基	アーチの強さ
出町小	5年	中村 美喜	ミラクルパラシュート
出町中	中1	坪本 唯花	植物色素の色変化
出町中	中3	林 靖人	オカダンゴムシの交替性転向反応について

<今月の人気DVD・ビデオコーナー>



第70回富山県科学展覧会のお知らせ

日時 平成23年10月21日(金)～

24日(月) 午前中まで

会場 富山市科学博物館 ☎ 076-491-2123

主催 富山県教育会、富山県理科教育振興会

※ 砺波市からは金賞の5点が出品されます

教育大会 企画委員会

8月31日(水) 庄川支所において、砺波市教育大会第1回企画委員会が開かれました。今年度は、平成24年1月21日(土)午後1時30分から開催されることがすでに決定しています。

企画委員会では、昨年度のアンケート結果や反省をふまえ、参加者が元気が出るような意味のある大会にしていくという方向性を確認し合いました。会場は砺波市文化会館、参加者は1000人を予定しています。幼・保・小・中学校、社会教育、社会体育、生涯学習団体の力を結集し、「自由楽しく学び合い、心の絆を深める生涯学習」「個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実」「健全な心と体を育む教育の充実」の具現化の一助にしていきたいと考えています。

今後、被表彰の選定、実践発表など様々な事柄で関係各位のご協力をお願いすることになります。がよろしくお祈りいたします。

今年度の研修図書購入しました

今年度購入した研修図書が入りました。すでに一覧で案内済みです。購入希望を参考にしながら図書を選定しました。センターのホームページにも研修図書一覧がありますのでご覧ください。秋の夜長を読書で過ごすことも考えてみてはいかがでしょうか。



※ 今年度購入したDVDもそろいました。合わせてホームページでご確認ください。

9月 行事予定

- 26日(月) 般若中学校訪問研修会
中堅教員研修会⑤
- 27日(火) 定例教育委員会
- 28日(水) 庄川中学校訪問研修会
適応指導教室「おもしろ科学実験」参加

10月 行事予定

- 6日(木) 太田幼稚園訪問研修会
ICT兼任研修員研修会④
- 11日(火) ひよどりサポート会議⑥
- 14日(金) 適応指導教室 体験交流活動
- 18日(火) 派遣教育専門員等会議
- 19日(水) 県科学展覧会搬入
- 20日(木) 出町幼稚園訪問研修会
- 21日(金) 地区センター幹事会
- 24日(月) 東野尻幼稚園訪問研修会
- 28日(金) 県適応指導教室担当者研修会

運動会 真っ盛り

先日、保育所の運動会を見る機会を得ました。あいにくの雨でしたが、体育館では、子どもたちが、家族や保育士さんたちに見守られながら元気いっぱい自分を表現していました。特に興味深かったのは、障害物レースの中で、いろいろ置いてある働く車(段ボールで作ったもの)を選んで走って行くところでした。ただ早さを求めていけば、一番近くのものを選んで走って行くのですが、小さい子どもほど、そこで立ち止まり、どの車にするかを選んだり、めあてのほしい車を探す動きを見せています。なんともほほえましい姿ですが、子どもたちは、他の友達と競争しようとする意識よりも、どの車に乗って、どんなレンジャーになるのかを思い巡らし、自分がどんなヒーローになるのかこそが大きな問題であったのだらうと思われまます。

家族に手を振る様子や自分のお気に入りの車に乗って満足げな小さい子どもたちは、以前の自分と競争して、より強い或いはよりすごいヒーローを目指して今の自分を誇らしげにアピールしている姿に見えてきました。

